取扱説明書

Bass Amplifier

DUAL CUBE BASS LX

English

日本語

Deutsch

Français

Italiano

Español

Português

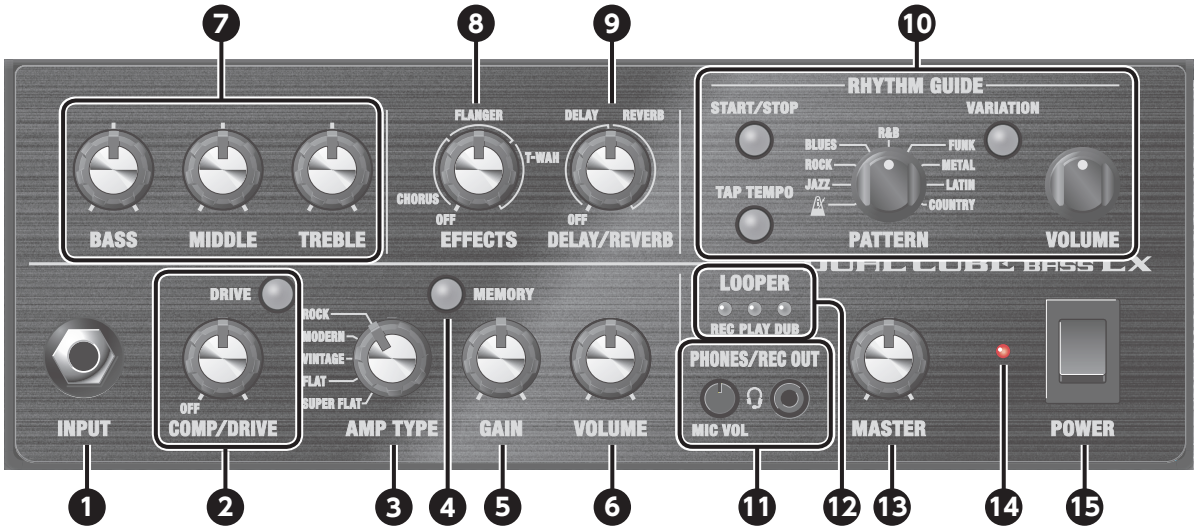
Nederlands

本機を正しくお使いいただくために、ご使用前に「安全上のご注意」と「使用上のご注意」（『安全上のご注意』チラシと取扱説明書（P.12））をよくお読みください。
お読みになったあとは、すぐに見られるところに保管しておいてください。

© 2022 Roland Corporation

各部の名称とはたらき

トップ・パネル



1 INPUT 端子

ベース・ギターを接続します。

2 [COMP/DRIVE] ボタン

コンプまたは歪み系のエフェクトを設定します。
「OFF」に設定すると、エフェクトはかかりません。

[DRIVE] ボタン

歪み系のエフェクトを使うときは、[DRIVE] ボタンを押して点灯させます。

3 [AMP TYPE] つまみ

アンプのタイプを選びます。

タイプ	説明
SUPER FLAT	フラットな特性のアンプです。
FLAT	クラシックなベース・サウンドのアンプです。
VINTAGE	太く甘いビンテージ・サウンドのアンプです。
MODERN	タイトな低域と高域の抜けをもつアンプです。
ROCK	オーバー・ドライブ・サウンドが特徴のアンプです。

4 [MEMORY] ボタン

メモリー機能を使って、アンプ・タイプごとにつまみの設定を3セット記憶することができます （P.6）。

5 [GAIN] つまみ

ゲイン（歪みの量）を調節します。

6 [VOLUME] つまみ

イコライザーやエフェクトを通す前の音量を調節します。

7 EQUALIZER

[BASS] つまみ

低音域の音量を調節します。

[MIDDLE] つまみ

中音域の音量を調節します。

[TREBLE] つまみ

高音域の音量を調節します。

8 [EFFECTS] つまみ

コーラスやフランジャーなどのエフェクトを、つまみ位置によって切り替えて使用できます。

タイプ	説明
OFF	エフェクトを使用しません。
CHORUS	微妙に揺れる音を加えて、広がりと厚みのある美しいトーンに変えるエフェクトです。
FLANGER	音にうねりを与えるフランジング効果を作り出します。
T-WAH	ベースの音量に応じてフィルターを変化させて、ワウ効果を得ることができます。

9 [DELAY/REVERB] つまみ

ディレイやリバーブなどのエフェクトを、つまみ位置によって切り替えて使用できます。

タイプ	説明
OFF	エフェクトを使用しません。
DELAY	ディレイの時間と効果が変化します。
REVERB	リバーブの音量を調節します。

⑩ RHYTHM GUIDE

個人練習等に便利な、ドラム／パーカッションによるリズム・パターンを内蔵しています。好みのパターンに合わせて練習したり、メトロノームを鳴らしたりすることもできます（P.6）。

[PATTERN] つまみ

リズム・パターンのジャンルを選びます。

[START/STOP] ボタン

リズム・ガイドをスタート／ストップします。リズム・ガイドをスタートすると、[START/STOP] ボタンがテンポに合わせて点滅します。

[TAP TEMPO] ボタン

リズム・ガイドのテンポを設定します。好みのテンポに合わせてこのボタンを 2 回以上押すと、リズム・ガイドがそのテンポで再生されます。

[VARIATION] ボタン

リズム・パターンのバリエーションを選びます。各ジャンルには、3 種類のリズム・バリエーションがあります。

[VARIATION] ボタンを押すたびに［VARIATION］ボタンの色が緑 → 赤 → 消灯と変化し、バリエーションが変わります。

[VOLUME] つまみ

リズム・ガイドの音量を調節します。

⑪ PHONES/REC OUT 端子

ヘッドホンやヘッドセット・マイクを接続します。

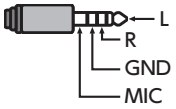
[MIC VOL] つまみを使うと、ヘッドセット・マイクの音量を調節することができます。

※ PHONES/REC OUT 端子使用時は、本体のスピーカーは鳴りません。

※ ヘッドセット・マイクによっては、音量を上げすぎるとハウリングすることがあります。また、LINE OUT 端子に接続したスピーカーとの間でハウリングすることがありますのでご注意ください。

※ PHONES/REC OUT 端子にプラグを差す／抜くときは、[MIC VOL] つまみを絞ってください。また、プラグは最後までしっかりと差し込んでください。音量が上がっていたり、プラグが正しく差し込まれたりしていないと、大きなノイズが発生する場合があります。

※ PHONES/REC OUT 端子のピン配置（ステレオ、CTIA）



⑫ LOOPER インジケーター

FOOT SW 端子にフットスイッチ（別売：FS-5U、FS-6、FS-7）を接続すると、ルーパーを使うことができます（P.7）。

⑬ [MASTER] つまみ

出力音量を調節します。

⑭ POWER インジケーター

電源をオンにするとインジケーターが点灯します。

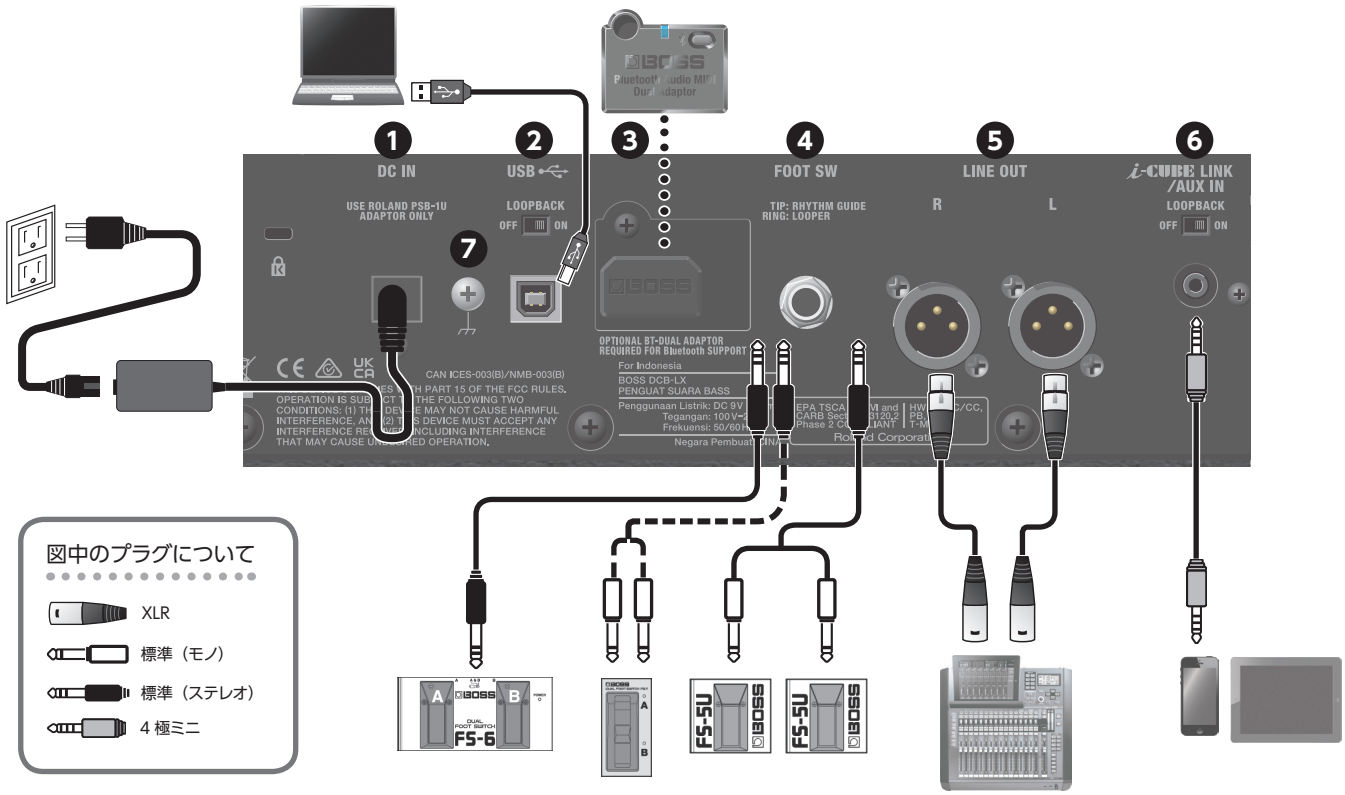
※ 電池駆動のときは、電池が消耗してくると POWER インジケーターが点滅します。早めに電池を交換してください（P.5）。

⑮ [POWER] スイッチ

本体の電源をオン／オフします（P.5）。

リア・パネル（接続する）

※ 他の機器と接続するときは、誤動作や故障を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞り、すべての機器の電源を切ってください。



図中のプラグについて

- XLR
- 標準（モノ）
- 標準（ステレオ）
- 4 極ミニ

1 DC IN 端子

付属の AC アダプターを接続します。

※ AC アダプターは必ず付属のものを使用してください。

2 USB 端子

市販の USB 2.0 ケーブルを使って、本機の音をパソコンで再生／録音することができます。また、専用ソフトウェアを使って、内蔵エフェクターの設定を変更することもできます。

本機の音をパソコン、iPad、iPhone で再生／録音する

OS 標準の USB ドライバーを使用します。

パソコンの場合は、専用の USB ドライバーも使用できます。

iPad、iPhone を接続するときは、市販の USB B タイプに変換するアダプターやケーブルをお使いください。

専用ソフトウェアを使う

専用の USB ドライバーを使用します。

USB ドライバーは、ボスのホームページからダウンロードしてください。詳しくは、ダウンロードしたファイルにある Readme.htm をお読みください。

https://www.boss.info/jp/support/

使用する USB ドライバーを設定する

USB ドライバー	操作
専用 USB ドライバー	[AMP TYPE] つまみを「SUPER FLAT」に設定し、[MEMORY] ボタンを押しながら電源を入れます。
OS 標準の USB ドライバー	[AMP TYPE] つまみを「FLAT」に設定し、[MEMORY] ボタンを押しながら電源を入れます。

[LOOPBACK] スイッチ

[LOOPBACK] スイッチをオンにすると、USB オーディオの入力音を、パソコン、iPad、iPhone に戻すことができます。

3 Bluetooth ADAPTOR 端子

別売りの **Bluetooth®** Audio MIDI Dual Adaptor（品番：BT-DUAL）を接続して、ワイヤレスでスマートフォン／タブレットなどのモバイル機器 (以降、「モバイル機器」と表記します) の音楽を再生したり、モバイル機器のアプリからエフェクトをエディットしたりすることができます （P.8）。

DUAL CUBE BASS LX 専用ソフトウェアを使う

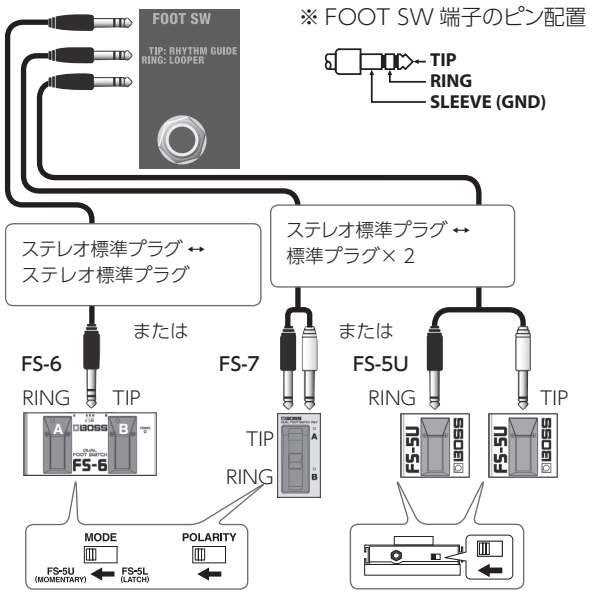
DUAL CUBE BASS LX を USB 経由でパソコンと接続して、専用ソフトウェアを使用することができます。専用ソフトウェアでは以下のことができます。

- エフェクトの設定を編集できます。
- エフェクトと本体の設定をバックアップしたり、バックアップした設定を戻したりすることができます。

専用ソフトウェアは、ボスのホームページ（**https://www.boss.info/jp/support/**）よりダウンロードすることができます。

❹ FOOT SW 端子

フットスイッチ（別売：BOSS FS-6、FS-7 または FS-5U）を接続すると、リズム・ガイドのスタート／ストップ（P.6）やルーパーの操作（P.7）が足元でできるようになります。



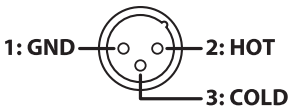
TIP	リズム・ガイドをスタート／ストップします。
RING	ルーパーを操作します。

❺ LINE OUT 端子

オーディオ・インターフェースやレコーダーと接続して、演奏の録音をしたり、ミキサーに出力したりすることができます。

また、専用ソフトウェア（P.4）やモバイル機器のアプリ（P.9）を使うと、出力音量を調節することができます。

※ LINE OUT 端子のピン配置



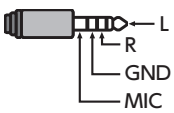
❻ i-CUBE LINK/AUX IN 端子

ステレオ･ミニ･タイプのケーブルで、モバイル機器などを接続し、本体のスピーカーから出力することができます。

また、本機をモバイル機器のオーディオ・インターフェースとして使用することができます（i-CUBE LINK）（P.7）。本機に付属しているミニ・ケーブル（4 極）で接続してください。

モバイル機器にイヤホン端子が装備されてない場合は、市販の変換アダプターをお使いください。

※ ミニ・ケーブル（4 極）のピン配置（ステレオ、CTIA）



[LOOPBACK] スイッチ

[LOOPBACK] スイッチをオンにすると、i-CUBE LINK/AUX IN 端子からの入力音をモバイル機器に戻すことができます。

❼ 接地端子

外部アースまたは大地に接地します。必要に応じて接続してください。

ベース・ギターやその他の外部機器を接続してノイズが発生したときに、接地することでノイズを軽減させることができます。

電池で使用する

本機は、アルカリ電池とニッケル水素電池で使用することができます。

電池の種類	使用時間
アルカリ電池	約 8 時間
ニッケル水素電池	約 10 時間

※ 時間は目安です。使用状況によって変わります。

※ 電池の使いかたを間違えると、破裂したり、液漏れしたりする恐れがあります。「安全上のご注意」「使用上のご注意」（『安全上のご注意』チラシと取扱説明書（P.12））に記載の電池に関する注意事項を守って正しくお使いください。

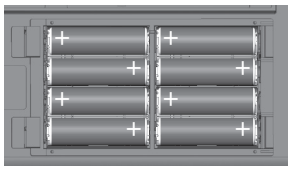
※ 電池駆動のときは、電池が消耗してくると POWER インジケーターが点滅します。早めに電池を交換してください。

※ 電池の消耗が著しいと、音が歪みやすくなり大音量時に音が途切れることがありますが故障ではありません。このようなときは電池を交換するか、付属の AC アダプターを使用してください。

電池の入れかた

1. リア・パネルの電池カバーをはずします。

2. 電池の向きに注意して電池を入れます。

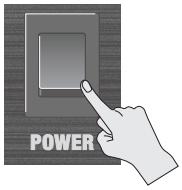


電源を入れる／切る

電源を入れる／切るときは、音量を絞ってください。音量を絞っても電源を入れる／切るときに音がすることがありますが、故障ではありません。

1. 本機の［MASTER］つまみと、本機に接続されている機器の音量が、最小になっていることを確認します。

2. 本機の電源を入れます。



3. LINE OUT 端子、PHONES/REC OUT 端子に接続されている機器の電源を入れます。

4. 各機器の音量を調節します。

※ 電源を切るときは、接続している他の機器の音量を絞ってから、電源を入れるときと反対の手順で電源を切ります。

便利な機能

メモリー機能を使う

現在のつまみの設定をアンプ・タイプごとに 3 セット記憶させることができます。

つまみの設定をメモリーに記憶させる

現在のつまみの位置をメモリーに記憶させます。

1. [MEMORY] ボタンを押して、記憶させるメモリーを選びます。

ボタンを押すたびに、緑 → 赤 → オレンジ → 消灯 → 緑 ... の順に点灯状態が切り替わります。

ボタンの点灯	説明
消灯（オフ）	現在のつまみの位置で音を鳴らします。
緑（メモリー 1）	記憶させたつまみの位置（設定）で音を鳴らします。
赤（メモリー 2）	
オレンジ（メモリー 3）	

2. つまみを回してお好みの設定にします。

3. [MEMORY] ボタンを数秒間押し続けます。

[MEMORY] ボタンが点滅します。
設定を記憶すると [MEMORY] ボタンは点灯に変わります。

注意

- メモリーを記憶させると、それまで記憶していたメモリーの設定は失われます。
- 修理に出される場合や、機器の故障、誤った操作などにより、記憶した内容が失われることがあります。失っても困らないように、大切な記憶内容はバックアップするか、メモしておいてください。専用ソフトウェア（P.4）やモバイル機器のアプリ（P.9）を使うことで、設定をバックアップすることができます。

メモリーを呼び出す

記憶したつまみの設定を呼び出します。

1. [AMP TYPE]つまみを回して、アンプ・タイプを選びます。

2. [MEMORY] ボタンを押して、呼び出すメモリーを選びます。

選んだメモリーに記憶されている設定に変わります。

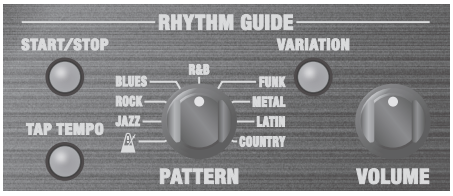
※ メモリーに記憶した設定によっては、メモリーを選んだときに音量が大きく変化しますのでご注意ください。

メモ

メモリーを呼び出したあとでつまみを動かすと、つまみの位置の設定に変わります。
各つまみを操作したとき、記憶されているつまみの位置と一致すると [MEMORY] ボタンが一瞬消灯します。

リズム・ガイドを使う

個人練習等に便利な、ドラム／パーカッションによるリズム・パターンを内蔵しています。好みのパターンに合わせて練習したり、メトロノームを鳴らしたりすることもできます。



1. [PATTERN] つまみを回して、パターンを選びます。

パターン	（メトロノーム）、JAZZ、ROCK、BLUES、R&B、FUNK、METAL、LATIN、COUNTRY

2. [START/STOP] ボタンを押してリズム・ガイドをスタートします。

リズム・ガイドがスタートすると、[START/STOP] ボタンが点滅します。

3. リズム・ガイドの [VOLUME] つまみで、リズム・ガイドの音量を調節します。

4. [VARIATION] ボタンを押して、リズムのバリエーションを選びます。

各パターンには、3 種類のリズム・バリエーションがあります。
ボタンを押すたびに、緑 → 赤 → 消灯 → 緑 ... の順に点灯状態が切り替わります。

5. 弾きたいテンポに調節します。

好みのテンポに合わせて、[TAP TEMPO] ボタンを 2 回以上押すと、リズム・ガイドがそのテンポで再生されます。

メモ

FOOT SW 端子にフットスイッチ（別売：FS-5U、FS-6、FS-7）を接続すると、フットスイッチでリズム・ガイドのスタート／ストップができます。

ルーパーを使う

FOOT SW 端子にフットスイッチ（別売：FS-5U、FS-6、FS-7）を接続すると、ルーパーを使うことができます。
最大 90 秒（モノ）までの演奏内容を録音し、その内容を繰り返し再生させることができます。繰り返し再生に合わせて、別の演奏を重ねて録音（オーバーダビング）することもできます。録音した内容をバックに演奏することができます。

※ 工場出荷時は最大 45 秒（ステレオ）です。専用ソフトウェア（P.4）やモバイル機器のアプリ（P.9）を使うことで最大 90 秒（モノ）を選ぶことができます。

録音

録音がスタートします。
ループしたいところでフットスイッチ（RING）を押すと、再生に切り替わります。

ループ再生

ループ再生します。
フットスイッチ（RING）を押すとオーバーダビングに切り替わります。

オーバーダビング

ループ再生しながら演奏を重ねて録音します。
フットスイッチ（RING）を押すと再生に切り替わります。

停止／クリア

フットスイッチ（RING）を 1 秒以内に 2 回押すと、ルーパーが停止します。
2 秒以上押すとフレーズをクリアします。

※ 最大録音時間いっぱいまで録音すると、自動的に再生に切り替わります。
※ 電源を切ると、録音されていた演奏内容は失われます。

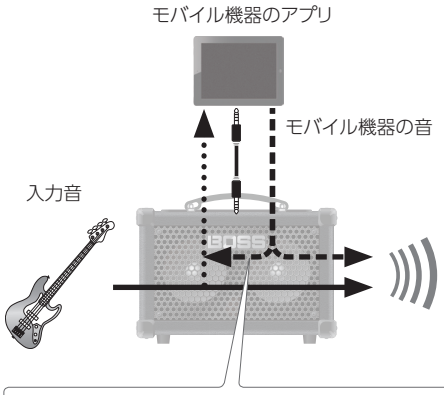
LOOPER インジケーターの表示

インジケーター	説明
REC	録音中に点灯
PLAY	再生中に点灯、停止時は点滅
DUB	オーバーダビング時に点灯

モバイル機器と組み合わせて使う（i-CUBE LINK）

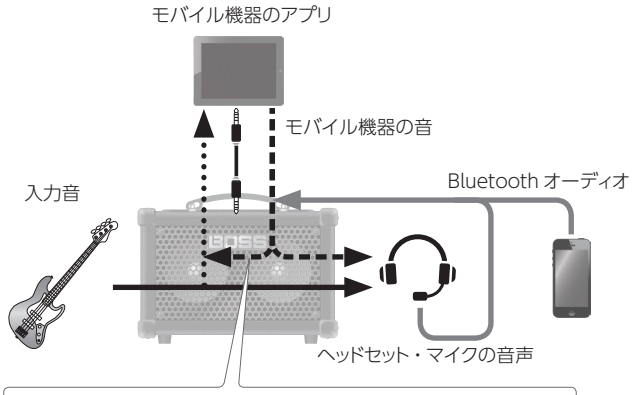
「i-CUBE LINK」は、付属のミニ・ケーブル（4 極）でモバイル機器を接続すると、モバイル機器のオーディオを再生しながら本機に入力した音をモバイル機器に送ることができる機能です。
この機能を使うと、本機に入力した音をモバイル機器のアプリで録音／再生したり、ライブ配信したりすることもできます。

本体スピーカー使用時



［LOOPBACK］スイッチをオンにすると、i-CUBE LINK/AUX IN 端子からの入力音をモバイル機器に戻します。

ヘッドセット・マイク／ Bluetooth オーディオ使用時



ヘッドセット・マイクの音声や Bluetooth オーディオをモバイル機器で再生／録音するときは、［LOOPBACK］スイッチをオンにします。

i-CUBE LINK の詳細や、i-CUBE LINK が利用できるモバイル機器のアプリについては、ボスのホームページをご覧ください。
https://www.boss.info/jp/

ワイヤレスでモバイル機器と接続する

DUAL CUBE BASS LX に別売りの BT-DUAL を取り付けることで、以下のことができるようになります。

- ワイヤレスでモバイル機器の音楽を再生する
- モバイル機器のアプリからエフェクトをエディットする
- 別売のワイヤレス MIDI エクスプレッション・ペダル EV-1-WL と接続して、ワイヤレスで音量などをコントロールする

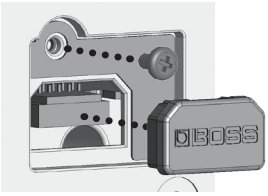
※ DUAL CUBE BASS LX 自体には、Bluetooth 機能は搭載されていません。別売りの BT-DUAL を取り付けることで、Bluetooth 機能を使用することができます。

BT-DUAL を取り付ける

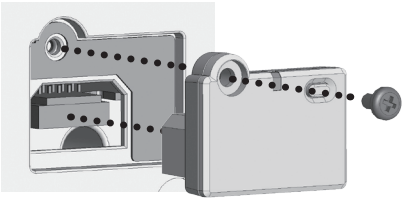
DUAL CUBE BASS LX の Bluetooth ADAPTOR 端子に BT-DUAL を取り付けます。

1. DUAL CUBE BASS LX の電源を切って、AC アダプターをコンセントから抜きます。

2. リア・パネルの、Bluetooth ADAPTOR 端子のカバーとネジをはずします。



3. BT-DUAL を取り付け、手順 2 ではずしたネジで固定します。



注意

- 必ず Bluetooth ADAPTOR 端子にあるネジを使ってください。他のネジを使うと故障の原因になります。
- 回路部や端子部には手を触れないでください。
- 取り付けを終えたら、正しく取り付けられていることを再度確認してください。

モバイル機器とワイヤレスで接続して音を聞く

Bluetooth® オーディオ機能

Bluetooth オーディオ機能をもったモバイル機器で再生した音楽やミュージック･ビデオを、DUAL CUBE BASS LX のスピーカーで聞くことができます。

モバイル機器を登録する（ペアリング）

「ペアリング」とは、使いたいモバイル機器を DUAL CUBE BASS LX に登録する（お互いに認証する）ための手続きです。
モバイル機器に保存している音楽データを、ワイヤレスで DUAL CUBE BASS LX から再生するための設定をします。

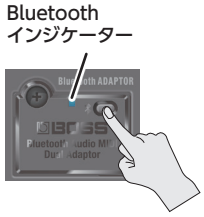
メモ

以下の操作説明は一例です。詳しくは、モバイル機器の取扱説明書をご覧ください。

1. DUAL CUBE BASS LX の電源を入れます。

2. 接続したいモバイル機器を DUAL CUBE BASS LX 周辺に置きます。

3. Bluetooth インジケーターが高速点滅するまで、BT-DUAL のペアリング・ボタンを長押しします。



4. モバイル機器の Bluetooth 機能をオンにします。

メモ

操作説明は iPhone を使った場合の一例です。詳しくは、モバイル機器の取扱説明書をご覧ください。

5. モバイル機器の Bluetooth デバイス画面に表示されている「DUAL CUBE Audio」をタップします。

BT-DUAL とモバイル機器がペアリングされます。ペアリングが成功すると、モバイル機器の「ペアリングされた機器」リストに「DUAL CUBE Audio」が追加されます。

※ 一定時間ペアリングを実行しないと、Bluetooth インジケーターが消灯しペアリング待機状態が解除されます。

ペアリング済みのモバイル機器を接続する

1. BT-DUAL の Bluetooth インジケーターがオフのとき、ペアリング・ボタンを押します。

2. モバイル機器の Bluetooth 機能をオンにします。

メモ

- 上記の操作で接続ができなかった場合は、モバイル機器の Bluetooth デバイス画面に表示されている「DUAL CUBE Audio」をタップしてください。
- 切断するときは、BT-DUAL のペアリング・ボタンを押して Bluetooth インジケーターを消灯するか、モバイル機器の Bluetooth 機能をオフにします。

音量を調節する

1. モバイル機器で音量を調節します。

Bluetooth オーディオの音量を調節します。

モバイル機器のアプリから DUAL CUBE BASS LX を操作する

アプリ DUAL CUBE BASS LX Editor を使って、エフェクトをエディットしたり、本機の設定を保存したりすることができます。
また、別売のワイヤレス MIDI エクスプレッション・ペダル EV-1-WL と接続することで、音量などをコントロールすることもできます。
DUAL CUBE BASS LX Editor の詳細については、ボスのホームページをご覧ください。
https://www.boss.info/jp/

アプリと接続する

モバイル機器のアプリを使えるようにする設定をします。

※ アプリと接続するときは、モバイル機器の Bluetooth 設定ではなく、アプリ内の設定から接続します。

1. **DUAL CUBE BASS LX の電源を入れます。**

2. **接続したいモバイル機器を DUAL CUBE BASS LX 周辺に置きます。**

3. **モバイル機器の Bluetooth 機能をオンにします。**

※ Bluetoothオーディオに接続していると、BT-DUALのBluetoothインジケーターが点灯します。この時点では、アプリとの接続は完了していないためご注意ください。

メモ

操作説明は iPhone を使った場合の一例です。詳しくは、モバイル機器の取扱説明書をご覧ください。

4. **アプリ内の設定から、DUAL CUBE MIDI と接続をします。**

注意

モバイル機器の Bluetooth 設定に表示されている「DUAL CUBE MIDI」をタップしないでください。

Bluetooth 機能を無効にする

BT-DUAL とモバイル機器の Bluetooth 接続を切るとき、Bluetooth 機能を無効にします。
モバイル機器と Bluetooth 接続しないときは、電池での駆動時間を長持ちさせるため、Bluetooth 機能を無効にしておくことをおすすめします。

1. **BT-DUAL のペアリング・ボタンを押します。**

Bluetooth インジケーターは消灯します。

故障かな?と思ったら（Bluetooth 機能に関するトラブル）

症状	確認事項／対策		ページ
モバイル機器の Bluetooth デバイス欄に、「DUAL CUBE」が表示されない	Bluetooth 機能が無効になっていませんか?	BT-DUAL のペアリング・ボタンを押すと、Bluetooth 機能が有効になります。 Bluetooth オーディオ： 「DUAL CUBE Audio」というデバイスが現れます。 アプリに接続： 「DUAL CUBE MIDI」というデバイスが現れます。 DUAL CUBE BASS LX Editor などのアプリ内の設定から確認できます。	P.8
Bluetooth オーディオに接続できない	モバイル機器の Bluetooth デバイス欄に「DUAL CUBE」が表示されている場合	モバイル機器の Bluetooth 設定で、デバイスの登録を一時的に解除してから、Bluetooth 機能をオフ → オンし、ペアリングし直してしてください。	P.8
	モバイル機器の Bluetooth デバイス欄に「DUAL CUBE」が表示されていない場合	モバイル機器の Bluetooth 機能をオフ → オンしてから、DUAL CUBE BASS LX からペアリングを開始し、ペアリングし直してください。	
アプリに接続できない	モバイル機器に登録されている「DUAL CUBE MIDI」を解除してから、モバイル機器の Bluetooth 機能をオフ → オンし、アプリ内（DUAL CUBE BASS LX Editor）の設定から接続してください。		P.9
モバイル機器の Bluetooth 設定画面に表示された「DUAL CUBE MIDI」をタップしたが、アプリと接続できない	モバイル機器の Bluetooth 設定ではなく、アプリ内（DUAL CUBE BASS LX Editor）の設定から接続してください。		
BT-DUAL のペアリング・ボタンを押したが、アプリに接続できない	BT-DUAL のペアリング・ボタンを押しただけでは接続できません。 モバイル機器の Bluetooth 設定で、Bluetooth 機能をオンにしてから、アプリ内（DUAL CUBE BASS LX Editor）の設定で接続してください。		
ペアリングしたモバイル機器がつながらない	接続してもすぐに切れてしまうときは、モバイル機器の Bluetooth スイッチを一時的にオフにし再度オンにすると、接続される場合があります。		

メモ

内容を確認しても解決しないときは、ボスのサポート・ページをご覧ください。
https://www.boss.info/jp/support/

工場出荷時の設定に戻す

本体に記憶した設定を、工場出荷時の設定に戻します（ファクトリー・リセット）。

メモ

専用ソフトウェア（P.4）やモバイル機器のアプリ（P.9）で、本体に記憶した設定をバックアップすることがきます。
設定を保存しておきたいときは、専用ソフトウェアやモバイル機器のアプリでバックアップしてください。

1. [AMP TYPE] つまみを「ROCK」に設定し、[MEMORY] ボタンを押しながら電源を入れます。

[DRIVE] ボタンが点滅します。

2. [DRIVE] ボタンを押します。

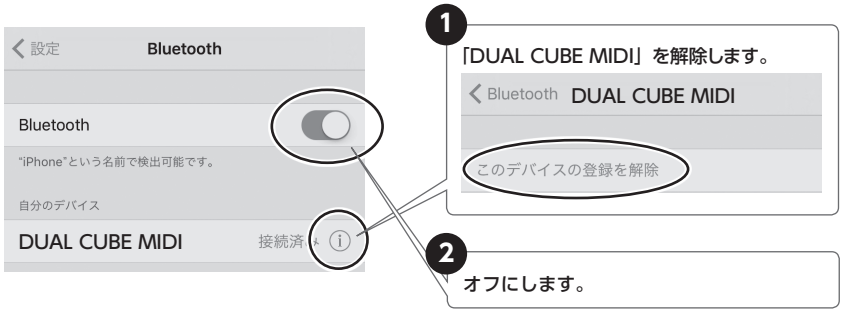
REC→PLAY インジケーターの順に、繰り返し点滅します。点滅が終了したら本体すべての設定が工場出荷時の状態に戻ります。

注意

ファクトリー・リセットの実行中は電源を切らないでください。

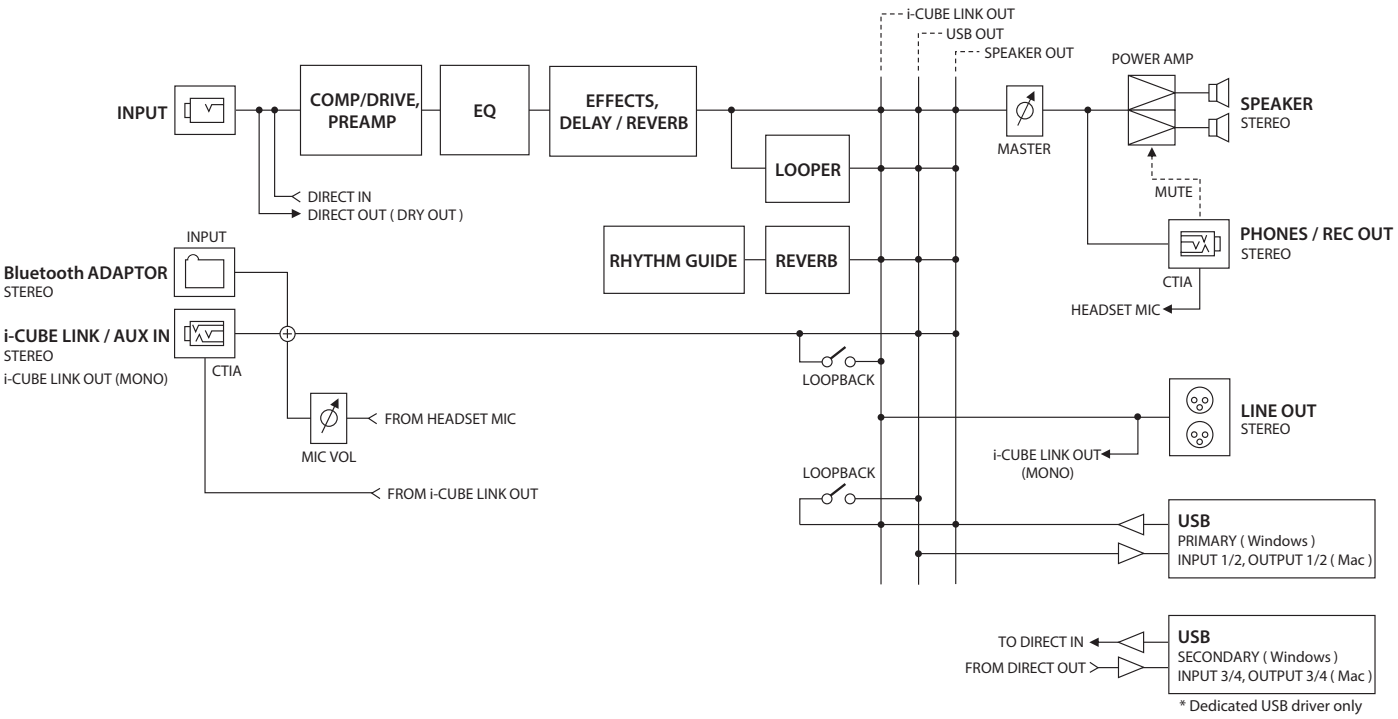
ペアリング済みの iOS デバイスを使うときのご注意

ファクトリー・リセットを実行したあとは、以下の操作が必要です。



詳しくは、iOS デバイスの取扱説明書をご覧ください。

ブロック・ダイアグラム



主な仕様

定格出力	10W（5W＋5W）
規定入力レベル	INPUT：-10dBu（1MΩ） i-CUBE LINK/AUX IN：-20dBu（15kΩ）
規定出力レベル	LINE OUT L、R：-10dBu
スピーカー	12cm（5 インチ）× 2
コントロール	[POWER] スイッチ [COMP/DRIVE] つまみ [DRIVE] ボタン [AMP TYPE] つまみ（SUPER FLAT、FLAT、VINTAGE、MODERN、ROCK） [MEMORY] ボタン [GAIN] つまみ [VOLUME] つまみ [BASS] つまみ [MIDDLE] つまみ [TREBLE] つまみ [EFFECTS] つまみ（CHORUS、FLANGER、T-WAH） [DELAY/REVERB] つまみ [START/STOP] ボタン [PATTERN] つまみ（METRONOME、JAZZ、ROCK、BLUES、R&B、FUNK、METAL、LATIN、COUNTRY） [VARIATION] ボタン [TAP TEMPO] ボタン [VOLUME] つまみ（RHYTHM GUIDE） [MIC VOL] つまみ [MASTER] つまみ [LOOPBACK] スイッチ（i-CUBE LINK/AUX IN） [LOOPBACK] スイッチ（USB）
インジケーター	POWER DRIVE MEMORY START/STOP VARIATION REC PLAY DUB
接続端子	INPUT 端子：標準タイプ PHONES/REC OUT 端子：ステレオ・ミニ・タイプ（ステレオ、CTIA） i-CUBE LINK/AUX IN 端子：ステレオ・ミニ・タイプ（ステレオ、CTIA） LINE OUT L、R 端子：XLR タイプ FOOT SW 端子：TRS 標準タイプ Bluetooth ADAPTOR 端子：専用タイプ USB 端子：USB B DC IN 端子
電源	AC アダプター（DC9V） アルカリ電池（単 3 形）× 8 ニッケル水素電池（単 3 形）× 8
消費電流	370mA
連続使用時の電池寿命	アルカリ電池：約 8 時間 充電式ニッケル水素電池：約 10 時間（※ 1） ※ 1：容量 2,500mAh のニッケル水素電池を使用した場合の時間です。 ※ 電池の仕様、容量、使用状態によって異なります。
外形寸法	341（幅）× 205（奥行）× 261（高さ）mm
質量	4.4kg（AC アダプターを除く）
付属品	取扱説明書 「安全上のご注意」チラシ AC アダプター 電源コード ミニ・ケーブル（モバイル機器用、4 極ミニ・タイプ） 保証書
別売品	フットスイッチ：FS-5U、FS-6、FS-7 Bluetooth® Audio MIDI Dual Adaptor（品番：BT-DUAL） ワイヤレス MIDI エクスプレッション・ペダル：EV-1-WL

※ 0dBu = 0.775Vrms

※ 本書は、発行時点での製品仕様を説明しています。最新情報についてはローランド・ホームページをご覧ください。

安全上のご注意

⚠ 警告

付属の AC アダプターを AC100V で使用する

AC アダプターは、必ず付属のものを、AC100V の電源で使用してください。

付属の電源コードを使用する

電源コードは、必ず付属のものを使用してください。また、付属の電源コードを他の製品に使用しないでください。

BT-DUAL を取り付ける前に電源を切る

BT-DUAL を取り付ける前に、DUAL CUBE BASS LX の電源を切って AC アダプターをコンセントから抜いてください。

⚠ 注意

小さな部品はお子様の手の届かないところに置く

下記の部品はお子様が誤って飲み込んだりすることのないよう手の届かないところへ保管してください。

- 取りはずしが可能な部品

  Bluetooth ADAPTOR 端子のカバー、ネジ (P.8)

接地端子の取り扱いに注意する

接地端子ネジは、お子様が誤って飲み込んだりすることのないよう取りはずした状態で放置しないでください。再度ネジを取り付ける際は、ゆるんではずれないように確実に取り付けてください。

⚠ 注意

やけどしないように注意する

使いかたによっては電池が高温になることがありますので、やけどしないよう注意してください。

使用上のご注意

電源について

- AC アダプターは、インジケーターのある面が上になるように設置してください。AC アダプターをコンセントに接続すると、インジケーターが点灯します。

電池について

- 電池の消耗が著しいと、音が歪みやすくなり大音量時に音が途切れることがありますが故障ではありません。このようなときは電池を交換するか、付属の AC アダプターを使用してください。
- 電池で使用する場合は、アルカリ電池、ニッケル水素電池を使用してください。
- AC アダプターを本機から抜いておかないと、電池駆動では使えません。

設置について

- 設置条件（設置面の材質、温度など）によっては、本機のゴム足が設置した台などの表面を変色または変質させることがあります。

修理について

- 修理を依頼されるときは、事前に記憶内容をバックアップするか、メモしておいてください。修理するときには記憶内容の保存に細心の注意を払っておりますが、メモリー部の故障などで記憶内容が復元できない場合もあります。失われた記憶内容の修復に関しましては、補償も含めご容赦願います。
- 当社では、本機の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打切後 6 年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。なお、保有期間を過ぎたあとでも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店、またはローランドお客様相談センターにご相談ください。

その他の注意について

- 記憶した内容は、機器の故障や誤った操作などによって失われることがあります。失っても困らないように、大切な記憶内容はバックアップするか、メモしておいてください。
- 失われた記憶内容の修復に関しましては、補償を含めご容赦願います。
- 抵抗入りの接続ケーブルは使用しないでください。

知的財産権について

- 第三者の著作物（音楽作品、映像作品、放送、実演、その他）の一部または全部を、権利者に無断で録音、録画、複製あるいは改変し、配布、販売、貸与、上演、放送などを行うことは法律で禁じられています。
- 第三者の著作権を侵害する恐れのある用途に、本製品を使用しないでください。お客様が本製品を用いて他者の著作権を侵害しても、当社は一切責任を負いません。
- 製品に内蔵、付属されたコンテンツ（音色波形データ、スタイル・データ、伴奏パターン、フレーズ・データ、オーディオ・ループ、画像データなど）の著作権は当社が保有しています。
- 製品に内蔵、付属されたコンテンツ（ただしデモ曲などの楽曲データは除く）を素材として、お客様が新たな作品を制作、演奏、録音、配布をすることに関しては、当社の許諾を必要としません。
- 製品に内蔵、付属されたコンテンツを、そのまま、もしくは酷似した形態で取り出し、別の記録媒体に固定して配布したり、コンピューター・ネットワークを通じて公開したりすることはできません。
- ASIO は、Steinberg Media Technologies GmbH の商標およびソフトウェアです。
- **Bluetooth**®のワードマークは、**Bluetooth** SIG, Inc. が所有する登録商標であり、ローランドはこのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- 本製品には、第 3 者のオープンソースソフトウェアが含まれています。
  Copyright (c) 2009-2017 ARM Limited. All rights reserved.
  Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the "License");
  You may obtain a copy of the License at
  http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0
- 本製品は、T-Engine フォーラム（www.tron.org）の T-License 2.0 に基づき μT-Kernel ソースコードを利用しています。
- 文中記載の会社名および製品名などは、各社の登録商標または商標です。
- Roland、BOSS、CUBE は、日本国およびその他の国におけるローランド株式会社の登録商標または商標です。

お問い合わせの窓口

ホームページをご覧ください

Roland製品

電子楽器製品（電子ピアノ、電子ドラム、シンセサイザーなど）
https://roland.cm/roland_support

プロAV製品（ビデオ・ミキサー、業務用映像音響機器など）
https://roland.cm/proav_support

BOSS製品
https://roland.cm/boss_support

'22. 02. 01 現在

ローランド株式会社
〒431-1304 静岡県浜松市北区細江町中川 2036-1